

2009/11/22

日本核磁気共鳴学会会員の皆さんへ

日本核磁気共鳴学会会長 阿久津秀雄

さて会員の皆様もニュースや新聞でご存知のように現在、政府の行政刷新会議による「事業仕分け」が行われており、若手支援プロジェクト、大学運営交付金、科学研究費補助金およびさまざまな大型プロジェクトなども仕分けの対象となっております。この仕分け作業での結論はわが国の科学研究の進展に大きな影響を与える可能性があります。進行状況は行政刷新会議ホームページ (<http://www.cao.go.jp/sasshin/index.html>) をご覧になると分かります。

Nature (<http://www.nature.com/news/2009/091117/full/462258a.html>) や Science (<http://www.sciencemag.org/cgi/content/full/326/5956/1046-b>) などでもこの問題が取り上げられています。

文部科学省では、この事業仕分けを契機として、多くの研究者等の声を予算編成に活かしていく観点から、今回、行政刷新会議の事業仕分けの対象となった事業について、広く意見を募集しています。以下の文部科学省ホームページ (http://www.mext.go.jp/a_menu/kaikei/sassin/1286925.htm) に詳細が記載されていますので、ご意見をお持ちの会員はそれぞれの意見を個人の責任で意見提出先（担当副大臣・政務官）までお送り下さい。現場の声をなるべく多く知ってもらうことは今後の科学技術行政にとって大切だと思います。

宛先：担当副大臣・政務官（中川正春氏・後藤斎氏）

（メール：nak-got@mext.go.jp）

（様式自由、必ず「メールの件名（タイトル）」に事業番号、事業名を記入してください）

以上、現在、急速に動いている状況について情報を提供させていただきました。